

高分解能で追跡機能をもった水平掃引レーダ式 新型踏切障害物検知装置

New type Laser Radar Obstacle Detector

概要

踏切道の安全への要求は年々高まっており、高齢化社会に対応するため障害物検知装置の検知性能も一層の向上が求められています。一方、機器の高度化に伴い信頼性の確保も課題となっています。この課題両立へ向けて、大同信号が取り組んでいる新型障害物検知装置についてご紹介いたします。

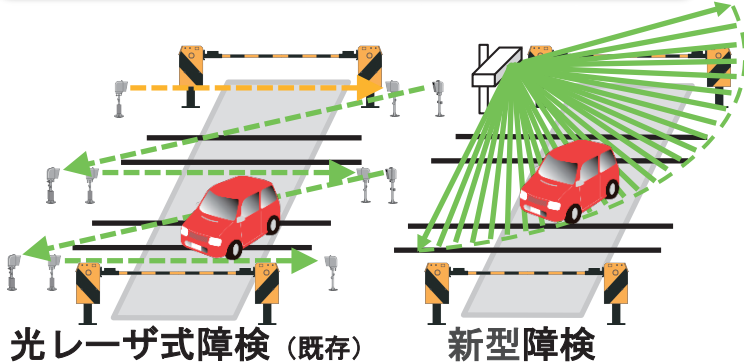
特徴

- 赤外線レーザレーダ（水平掃引式）を用いることにより、光レーザ式障検に比べて「**高分解能な物体検知**」が可能です。
- グルーピング処理と追跡処理を柱とする「**物体検知論理**」によって、外乱に強く、確実性の高い物体検知を実現しました。
- 2台「**対向設置**」することによって同一領域を監視することにより、上下線個別に監視ができ、片側故障時でも監視の継続が可能となります。

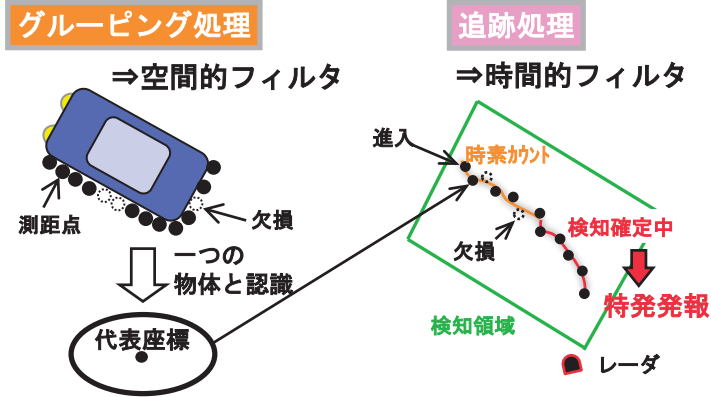
用途

- 複線用、単線用、ハイビームなど、規模に応じたシステムを選択できます。
- 光レーザ式障検(当社製)との干渉はありませんので、併設してモニタラン、システム更新が可能です。

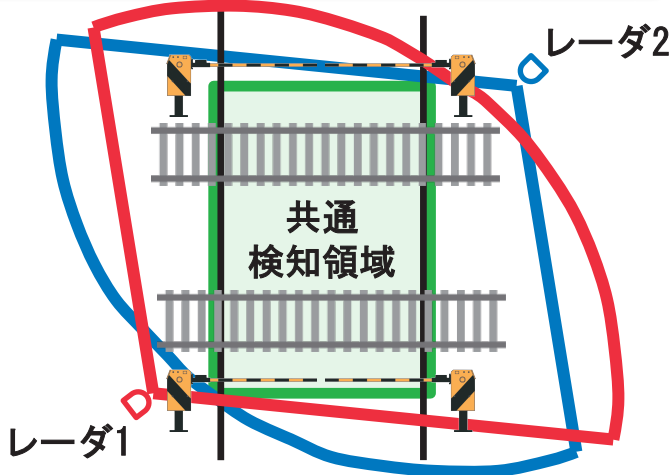
■ 高分解能な物体検知



■ 物体検知論理

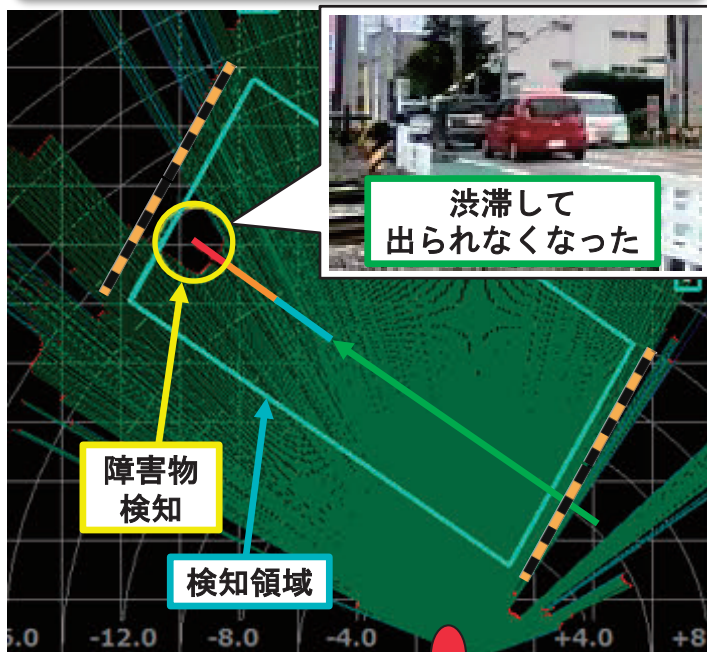


■ 対向設置による機能性向上

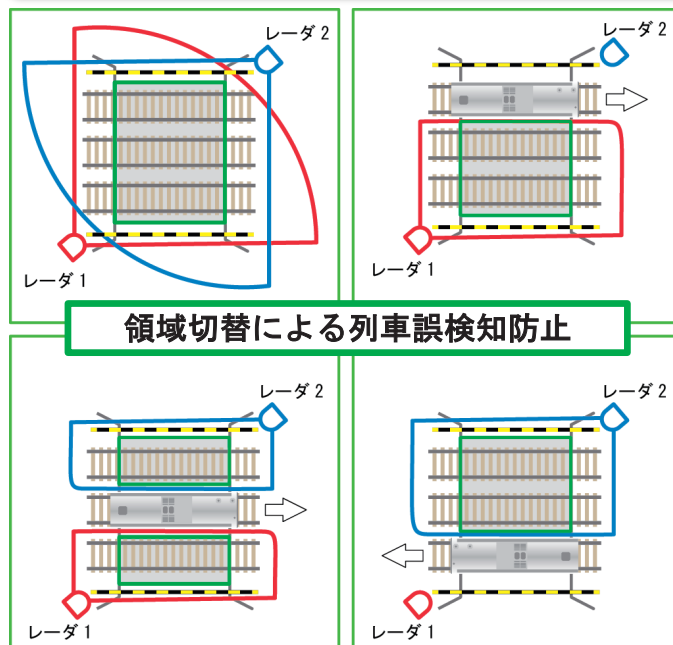


本装置の第三者安全性評価を鉄道総研殿に実施して頂いております。

■ 障害物検知例



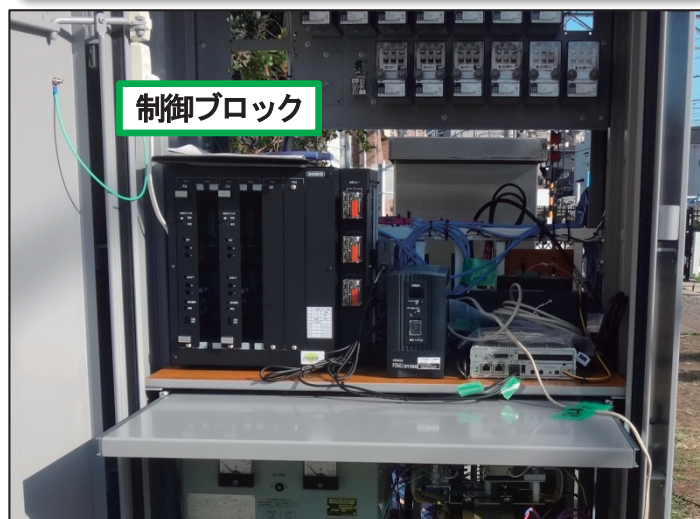
■ 領域切替機能



■ レーダヘッド



■ 制御ブロック



■ 設置概況

